



糖尿病の神経障害の治療は？

ゴルフの帰りに車の中で、あるいは夜寝ているときに脚がつる

糖尿病の神経障害の早期です。神経の働きをよくする薬、あるいは漢方で治療します。

血糖を下げる治療をはじめたら、急に足が痛くなってきた あるいは 夜寝静まる頃から脚（下肢）の痛みがじわじわとひどくなる

「有痛性神経障害」です。軽症の場合は市販の鎮痛薬でも効きますが、眠れないほどの痛みがあるときには、特別な薬を用います。直ちに主治医に診せましょう。

痛みで眠れないことはないが、異常感覚が気になって鬱陶しく、気が滅入る
痛みの性質を医師に話しましょう。うつ病の治療薬の中に有効なものがあります。

冷えを感じる。歩くと悪化するなどの症状

背骨の変形による脊柱管狭窄や、大動脈や脚の血管の閉塞性動脈硬化症についての検査を要します。

足の感覚が鈍い、また最近痛みを感じない

いわば、「切断なき切断」となっていることがあります。壊疽の誘因になりますから、医師や看護師に足の手入れについて指導を受けましょう。

便秘傾向、便秘と下痢を繰り返す

糖尿病性神経障害のためか、大腸の異常がないか、検査を受けてください。

糖尿病治療をおろそかにしていたら、尿の出方が悪くなった

神経障害と診断する前に、男性の場合は前立腺の診察をお受けください。

その気はあるが、「せがれが言うことを聞かない」

糖尿病性神経障害だけなのか、老化による男性ホルモンの低下か。医師に相談を。

最近、インスリンによる低血糖症状に気づきにくい

自律神経障害の可能性があります。主治医とよく相談し対策を練りましょう。

立ちくらみがひどく、しゃがみこむことがある

自律神経障害を考えなければなりません。直ちに治療を受けてください。

第15回・健康渋谷人イキイキ教室(入場無料)

テーマ：糖尿病神経障害とは何か

講師：東京都済生会渋谷診療所 内科 松岡 健平

糖尿病に最も多い合併症は神経障害です。こむらがえり、しびれ感、自発痛に始まり、EDをもたらし、壊疽の誘因となる厄介な合併症です。神出鬼没で多彩な症状は患者さんのみならず、主治医にとっても悩みの種となっています。

日時：平成20年11月8日(土)午後1時30分～3時

場所：東京都済生会渋谷診療所 待合ロビー(定員約20名)

講演終了後「何でも質問コーナー」があります。

参加費無料。参加申込みは直接受付窓口、又は電話 03-3407-0895まで。